

産大生と地域のかけ橋

ローカル× Local × College

まちかど研究室



特集1

地域とコラボしちゃいました!!

～新潟産業大学×地域の商品開発～

「大学は美味しい!! フェア」に参加しました！

特集2

「まちかど研究室」

商店街空き店舗を活用した
大学地域連携 4年目の試み



速報!! 水球部インカレ初準優勝！

柏崎の祭りと産大生

観光大使の部屋 ♥

刈羽中のオリジナルキャラ誕生！

柏崎の祭りと産大生

ぎおん柏崎祭りたる仁和賀

毎年運動部が中心となって参加。力の限り、声の限り、祭りを盛り上げます。



どんGALA！祭り

市内の複数のチームに踊り子として参加することも、ボランティアスタッフとしても頑張ります。



柏崎が熱くなる祭りの日、その熱気の中で

このまちと、ここに生きる人々を感じている



産大スポーツ

第1号

発行所
新潟産業大学
<椎田ゼミ>



志田主将、北原学長に準優勝報告

第91回日本学生選手権水球競技大会（インカレ）が、9月4日～9月6日までの3日間、神奈川県の相模原グリーンプールで開催され、新潟産業大学は1回戦で昨年3位の専修大学を8－7で下し、準々決勝の明治大学戦では圧倒的強さを見せつけ、16－9で勝利。準決勝は昨年準優勝の早稲田大学と対戦し、第4ビリオドを7－7の同点で終え、ペナルティースロー戦の末11－9で接戦を制しました。決勝は大会17連覇中の王者・日本体育大学。前半から点差を広げられ苦しい戦いが続き、3－20で敗れました。

産大水球部は、今年4月から「水球のまち柏崎」のさらなる発展を目指し、小学生から社会人までの各年代の水球チームと一緒にして活動を始めました。ブルボンKZは、2010年に社会人の男子水球チームとして結成され、12年の日本選手権で見事に優勝を果たし、現在では多くの日本代表が在籍している強豪チームです。

今回の一体化により、中小学生と高校生のチームである柏崎アカアクラブ、大学生の新潟産業大学と社会人チームであるブルボンKZの市内の全水球チームが新生ブルボンKZとなりました。今後チームの区分は、KZU12（小学）、KZU15（中学）、KZU18（高校）、KZU22（大学）、KZW（女子）、KZ（社会人）として大会に出場することになります。

現在チームの選手は全力でゴリーや合わせて108名。これからも、産大水球部員はブルボンKZの一員として、「水球のまち柏崎」の更なる発展と拡大を目指し、活動して参ります。

産大水球部 ブルボンKZと一体化



特集 1

地域とコラボしちゃいました♥

～新潟産業大学×地域の商品開発～

大学生が地域や企業と連携して、地元の資源から商品を開発、パッケージの作成から販売まで、製品の販売過程を一から学ぶことで、市場に流れている製品とは一体どのようにして作られているのか経験することができました。

ここでは、自分たちが作った商品を『大学は美味しい!! フェア』で実際に販売するまでの、過程を紹介し、実際に商品を売った感想などを取材しました。

えちゴンも
参加したゴン!!



※ このページで紹介している商品は、現在購入できないものもあります。

北陸学

新潟産米入

入iv

米大



第8回「大学は美味しい!! フェア」に参加しました！

「大学は美味しい!! フェア」とは全国各地の大学で、教授と学生たちが食品開発に携わった「大学発」のうまいものを紹介する新宿タカシマヤの人気催です。新潟産業大学は今年で参加3年目となり、複数のゼミナールが柏崎市の企業と協力し、地元食材を使用した商品開発に挑戦しました！



例年、学園祭でお米の販売を行なうだけでしたが、この美味しいお米を使つたお菓子を作りたいと考え、地元の老舗菓子店「新野屋」に協力を依頼し、柏崎銘菓「網代焼」をベースに「風

日干しのお米づくりを行っています。この取り組みは、阿部ゼミナールの3、4年生で農作業を中心とした活動しています。4月の田起こし、地ならしをし、5月に田植え、7月に草刈、9月から10月には収穫を協力して行っています。

阿部ゼミナールでは、「地域通貨を使つた棚田保全と地域経済の活性化」の一環で、新潟県柏崎市の農家のご協力のもと、手植えで無農薬はさ掛け天日干しのお米づくりを行っています。この取り組みは、阿部ゼミナールの3、4年生で農作業を中心とした活動を行なっています。

柏崎の経済を元気に

「米づくり

柏崎の経済を元気に」



経済経営学科
阿部ゼミ
たな米

の味「たな米」を商品開発しました。次いでビリ辛味の「風輪」やもち米でできた「かたもち」の販売も行いました。「大学は美味しい!! フェア」に参加し、お客様に試食をおすすめしながらの店頭販売を行いました。大きなデパートでの販売は緊張でいっぱいでした。実際に宣伝をして販売につなげることがとても難しく、声を出し試行錯誤しました。自分たちの作った商品が売れていくのはとても嬉しく感じ、貴重な体験となりました。

阿部ゼミナールに所属している経済経営学科3年の島岡謙さんは、「自分たちが取り組んでいることが知つてもらえたいい機会であり、風輪通貨と一緒にこれからも地域活性化に取り組んでいきたい」と話しています。



購入できる店舗：新野屋（期間限定）、新潟産業大学学園祭「紅葉祭」など



▲稲刈りの様子(上)、実際の風輪通貨(下)

地域通貨でまちを活性化!

阿部ゼミナールでは、お米での地域活性化の活動だけでなく、地域通貨を

発行し地産地消を進めています。地域通貨とは、限られた地域の中で流通する通貨のことです。学生が地元の商店に協力をお願いし、通貨の使える協賛

店となつてもらいながら地域コミュニティの活性化を目指しています。地域通貨は「米」と「市民の善意」から成り立つており、通貨の愛称は「風輪通貨」と名付けられていて、由来は「風のまち柏崎で人と人などを繋ぐ輪」となるように願いを込めたそうです。

今後はさらにゼミナールでの活動を市民に知つてもらえるよう、稲作活動や地域通貨専用のHPを作成します。これからも柏崎が元気になれるようないいと思います。

十日町ビジネスコンテスト プランを商品化!

金ゼミナールでは、観光ビジネスをテーマに学んでいます。昨年十日町ビ

ジネスコンテストに参加し、三位入賞を果たしました。入賞プランは「縄文クッキー わうくんとかえんちゃん」



▲ビジネスコンテスト授賞式の様子

クッキーとハーブティーの相性が良くて、とてもオススメです!!



金ゼミナールでは、イメージキャラクターや6コマ漫画を入れて学生が可愛くデザインしました。イメージキャラクターである、少年「おうくん」と少女「かえんちゃん」は王冠型、火炎型の土器に由来したイメージキャラクターです。

クッキーには、雑穀・木の実類が入った四種類のクッキーと十日町産のハーブティーが入っていてボリュームがあり、多くの方に楽しんでいただける商品になつていると思います。

「大学は美味しい!! フエア」では、クッキーの試食やハーブティーの試飲をするなど、会話を沢山して、自分たちが行う地域活性化の活動をアピールすることができます。これからも十日町と柏崎に多くの観光客が訪れ、二つのまちが元気に輝けると嬉しいです!



です。2020年、東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定された直後から、十日町で発掘された国宝・火焔型土器（十日町市博物館所蔵）を東京オリンピックの聖火台のモチーフに採用することを願い、入賞プランを柏崎市内にある食品メーカー「マルボン」と老舗和菓子店「最上屋」、十日町「なごみの家」に支援をお願いし、商品化することができました。

商品は話題性のある商品にするため、イメージキャラクターや6コマ漫画を入れて学生が可愛くデザインしました。イメージキャラクターである、少年「おうくん」と少女「かえんちゃん」は王冠型、火炎型の土器に由来したイメージキャラクターです。





留学生が田舎体験！ 「高柳を活性化させたい！」

ウリジバヤルセミでは留学生十名が高柳にある門出地区を訪れ、地域活性化について学んでいます。田舎体験や日本の伝統文化に興味を示してほしいという思いから地域交流を始めました。地域交流で実際に足を運ぶ中で、門出地区にはどんな資源があるのか、それを生かして町を活性化できないかの地区の人と意見交換しながら考えました。そこで見つけたのが、地域間で親しまれていた「青大豆」

また、モンゴル出身の留学生が多いため、「青い」をモンゴル語の「ふふ」と変え、「ふふ豆」と名付けました。

「大学は美味しい!! フエア」では、お客様とスマートに会話ができるのかと不安もありましたが、一生懸命丁寧に説明する姿勢から、予想以上のお客様が集まってきたり、「ふふ豆」は無事に完売しました。

「ふふ豆」を購入してくださった方からは、後日アンケートが寄せられ、「出門にぜひ一度行ってみたい」「とても美味しい」「少しきつい」といった意見をいただきました。これらの意見を大切にし、今後も地域活性化に取り組んでいきたいと思っています。

ウリジバヤルゼミ (留学生クラス)

小豆



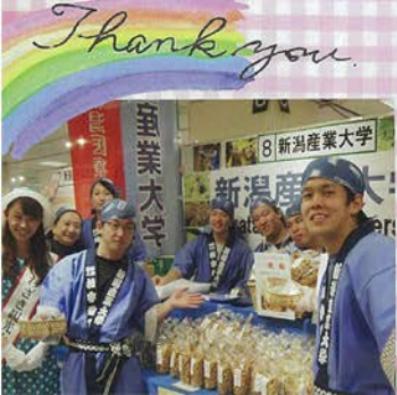
柏崎にたくさんの観光客が来ますように... ♥
～老舗の味「ほしくろ羊かん」
小さなお花と心をこめて～

椎田ゼミナールでは、老舗和菓子屋新野屋の名題で、ある「くろ羊かん」をもつと多くの人に知つてもらいたいという思いから、商品開発に踏み出しました。今回販売のコンセプトは、「ちょっと贅沢なラブリー羊かん」です。これは特に若い人々向けに作つた商品で、羊かんをハート型にくくり抜き、その上には阿賀野市の中農家の専門農家で育てた食田用花のエディブルフラワーを



経済経営学科
権田ゼミ
ほし♥クロ

添えて可愛く美味しく仕上げました。
樺田ゼミは今回で二回目となる「大学は美味しいフェア」への参加でした。昨年の反省を生かし、お客様との会話を大切にし、ベース内がスマーズで運営できるように皆で協力し開幕をしました。その甲斐もあり、柏崎や大学の魅力を知つてもらうことができました。『ぼし♥ケロ羊かん』もいろんな世代の方に手に取つてもらうことができ、自分たちが考えた商品を販売できました。



新潟工科大学 研究室



まちかど研究室 とは？

新潟産業大学と新潟工科大学の学生たちが連携して、大学の専門性や学生ならではのアイデアと行動力で、柏崎長約2kmの通りに約500軒もの露店が立ち並ぶ柏崎を代表する大露店街、えんま市。今年度のまち研では、大学と地域のコラボ商品やジュースの販売、3Dプリンタの実演、廃食用油の回収などを行いました。

まちかど研究室が今まで地域の方々と一緒に活動してきた様々なイベントや事業を紹介します。また、今年度から新体制となつた4年目のまち研の活動や今後の予定も紹介します。



産大橋田ゼミによるジュース販売

えんま市に出店！



3Dプリンタの実演

柏崎小と 七夕イベント



キャンドルナイト

様々なイベント を開催



子ども向け英語教室の様子



商店街の七夕かざりが復活



柏崎市立二田小学校の
柿販売の様子

柏崎小学校の6年生約70名を対象にワークショップを行いました。「わたしたちのまち、柏崎のためにできること」というテーマのもと、「柏崎のまちづくり」について考え、子どもたちが自分たちではじめられるまちづくりについて話し合いました。ワークショップを踏まえて実施したキャンドルナイトでは、ニコニコ通り商店街の方々との共同の七夕イベントとして、工科大の学生たちが準備したカラフルなキャンドルのかけらを、子どもたちが思い思いに容器に詰め、最後に白色の蠟で固めて作成しました。

【特集2】

新潟産業大学 ×

まちかど

最高プロジェクト

最高プロジェクトとは、柏崎市内にて開催された「まちかど」の企画・運営を主としたプロジェクトです。

第4回最高プロジェクトについて
市内での魅力を、写真、絵画、俳句、動画などで募集し、市内外へ発信して、中心市街地のにぎわい再生を目指す活動です。

第4回のテーマは「あなたの思い浮かべる柏崎のお祭り」とし、写真に限らず、その表現形式で表現することを定めました。市民の方々に柏崎の魅力の一つであるお祭りを、ファンダードを通してもう一度まますぐ見て頂き、それを写真形式で表現することで柏崎市民の人情や情熱等といった魅力を、多くの人と共有することを目指しました。受賞作品はオリジナルポストカードとして二次活用され、市内イベント等で販売しています。

クリスマスイルミネーション

賑わいのある明るい商店街を演出することで、二コ二コ通りに足を運んでもらうことをテーマに、イルミネー

ションLEDを冬の二コ二コ通り商店街のアーケードに設置しました。



スペース貸し

まち研を学生のほか一般の団体にも貸し出しを行い、地域の方が集まる場として活用してもうことで、地域とのつながりを深めることを目指します。現在、毎週火、水曜日に子ども向け英語教室が行われています。



『柏崎駅前商店街賞』
ベンネーム：あおぞら
タイトル：『町を照らして』

ワークショップ ボランティア



ジョイフルキッズファミリーフェス

柏崎で行われているリーダー塾や景観ワークショップなどのワークショップ等に参加。どんGALA！祭りやガス上下水道フェア等のイベントにボランティア参加もしました。



『新潟産業大学賞』
ベンネーム：森 基副
タイトル：『カッコイイ！』

『柏崎市長賞』
ベンネーム：柏崎カメラ部 杉井翼
タイトル：『鬼のように働くオニ。えちゴン！！』

『柏崎信用金庫賞』
ベンネーム：たむけん
タイトル：『きぼう』



第4回最高プロジェクト審査員と受賞者の集合写真

『柏崎の祭り』ポストカード
フィッシャーマンズケープ、柏崎観光協会、各種イベントなどで発売中!!



どんGALA！祭り



ガス上下水道フェア

27年度の活動

今年度のまち研では以下の3つを柱として、活動をしていきます。

クト・両大学の学生（学友会メンバーなど）が主体となり、「まち研」の発展やニコニコ商店街周辺でイベント等を企画、実行する。今年度は12月12日、駅前（西本町）、東本町を会場とした「スタンプラリー＆オリエンテーリング@商店街」を開催予定です。

②各大学がゼミや授業単位で実行するプロジェクト・少額の活動資金をゼミや授業に補助して、「まち研」を利用した活動や研究を実行する。
産業大・阿部・宇都宮ゼミ(地域通貨の普及)、権田ゼミ(CAFEの運営)、八木ゼミ(地域経済に関する調査研究)、工科大・建築学科(グリーンバード・ゴミ拾い活動)、再生可能エネルギー、研究同好会(廃食用油の回収)、長良研究室(フリーベーバーの作成)

中國語サロシ



産大の熊秀姫（センシュウケン）
教授による中国茶の実演

季節のポストカード

季節の葉書、ポストカードづくりの講習会を実施しました。講師は産業の書道部講師で、柏崎美術会副会長の宮嶋美恵子さん。書道部の学生たちもお手伝いとして参加しました。

グリーンバード

まち研周辺の商店街を定期的に清掃する活動を実施し誰もが無理なく気軽に参加できる地域貢献活動を根付かせることを目指します。

今年度もよろしく
お願いします！



商店街の活用法

廃食用油の回収

家庭等から廃棄される廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料（BDF）の原料とすることで学内でBDF発電をします。

③市民向けの講座：両大学が定期的に高校生や市民向けのミニ公開講座・セミナーを「まち研」内で実施する。



刈羽中学校×産大教職課程学生

中学生が生み出した

愛すべきキャラクターたち

昨年、刈羽中学校で生徒自身のアイデア、デザインによって4体のオリジナルキャラクターが生まれました。初回のワークショップでは、教員を指導して勉強している産大的学生たちも参加し、キャラクターづくりのお手伝いをしました。

刈羽中の魅力を伝える キャラクターをつくろう！

昨年10～12月、「刈羽中学校のオリジナルキャラクターをつくる！」と題したワークショップが、産大の権田恭子講師の指導のもと実施されました。初回のアイデアスケッチでは、産大で教職課程を履修している8名の学生も参加し、11名の中学生たちと意見を交わしながら、刈羽中や刈羽村の魅力を伝えるキャラクターのデザインとプロトタイプを考えました。

各グループに産大生が加わり、なごやかに、そして真剣に、対話しながらキャラクターのイメージが固まっていきます。



はじめて触れるデザインソフトにも次第に慣れ、P.C.の中にキャラクターが生まれます。

刈羽の桃やお米、校庭に立つ「希望の像」などをモチーフにした個性豊かなキャラクターの中から4名の作品が選ばれると、次のステップでは、本格的なデザインソフトを操作して、パソコン上でキャラクターを描きます。作業は3日間に渡り、参加した中学生たちは素晴らしい集中力で、ソフトの操作にも徐々に慣れて、各々がイメージ通りの作品を仕上げていきました。

キャラクターたちが 体育祭のグラウンドに現れた

こうして誕生したキャラクターたちは、学校案内パンフレットにも登場するなど、様々な場面で活躍を始めましたが、今年8月に開催された体育祭では、予想もしなかつた嬉しいサプライズが。なんとキャラクターたちが駆け付けたのです。地域の方と子どもたちが一緒に踊る「刈羽甚句」では、踊りの輪に彩りを添えました。平面からグラウンドに飛び出し、自らの意思で動き始めた刈羽中のキャラクターたち。今後、刈生たちとどんなことをしてくれるのか、その活躍が楽しみです。



今年の体育祭では、平面から飛び出したキャラクターたちにみんな大興奮！！

魅力的なキャラクターたちが生まれました。
学校や地域の皆さんに長く愛されるといいな♪



ゆめみちゃん



すのピー